

# 国土防災リモートセンシング研究会

会長：茨城大学 桑原 祐史 幹事：宮城大学 石内 鉄平

## 【 国土防災リモートセンシング研究会の取り組み 】

気候の変化にともない突発的豪雨の発生や例年にない巨大な台風が襲来し、国内外の多くの地域で水災害やそれに起因する土砂災害が頻発しています。多数の衛星群からの観測を可能とする衛星コンステレーション技術が登場し、広域を同時かつ瞬時に観測することが可能な衛星リモートセンシング技術は、益々、多くの災害監視や復旧の各場面で貢献できるものと思われます。災害発生からのタイムラインのステージにより、求められる(有効となる)観測手段と必要とされる情報には大きな違いがあります。このタイムラインの視点から地方自治体との議論を深め、当研究会で作成した「衛星データ利活用に関するガイドライン」や「災害時活用版ガイドライン」を更新する計画としています。これらのガイドラインはフリーソフトウェアを用いて演習することができる実践版のコンテンツとして整備を進めるとともに、CPDを取得することができる勉強会を企画する予定です。

## 【 研究会における活動内容の事例紹介 】

### 『 国土防災 RS 研究会・ドローン・RS 研究会共催勉強会 』 防災・減災に向けた衛星リモートセンシングの最新動向について

- 講演者：六川修一先生：防災科学技術研究所主幹研究員 国家レジリエンス研究推進センター 研究総括  
東京大学大学院工学系研究科上席研究員（名誉教授）
- 講演題目：多様な衛星コンステレーション時代の衛星利活用を考える-衛星データ実践活用-
- 開催日時：2025年4月15日（火）15：00-16：30
- 開催方法：オンライン（遠隔）開催
- 講演内容：防災への国家的取り組みや衛星地球観測をめぐる近年の動向、能登半島地震災害時における衛星観測実績やそこで顕在化した課題や教訓、今後の対応についてご講演頂きました。加えて、衛星データ利活用パイプライン構築の必要性や土砂災害早期検知、衛星による状況把握に必要な制度整備や人材育成といったリモートセンシング分野における今後の課題についてご教授頂きました。

## 『 ぼうさいこくたい 2025 in 新潟 』

- 出展日時：2025年9月7日（日）12：30-14：00
- セッション名称：SO-10「土と水を対象とした衛星画像・ドローンを用いたアプローチ」
- セッションの主旨：本セッションは、国土防災リモートセンシング研究会およびドローン・リモートセンシング研究会共催にて実施いたします。衛星画像とドローン撮影の特長をふまえ、得られるリモートセンシング情報の観点から災害時における衛星画像やドローン技術の活用事例について紹介します。特に、全国の自治体の防災ご担当者や地域住民の方々にご参加いただき、事前準備や災害時対応を検討する際の参考にしてもらえたらと考えています。  
参照元：ぼうさいこくたい 2025 ホームページ<<https://bosai-kokutai.jp/2025/SO-10/>>
- 登壇者：小荒井 衛氏、伊東明彦氏、齋藤 修氏、石内鉄平氏 Zoomによるオンライン講演状況



### 研究会の開催状況

- 1月15日（Zoom 遠隔会議）  
入会メンバーの確認  
2025年度の活動方針の確認 等
- 4月15日（オンライン開催）  
衛星リモートセンシングに関する勉強会

### 研究会活動

- 研究会 HP の更新作業  
新着情報の定期的な更新、英語版 等
- 災害時ガイドライン改定(評価・改善)
- 次世代衛星・UAV データの利活用に関する勉強会の企画

### 学会・社会貢献活動

- ぼうさいこくたい 2025 参加  
9月7日 セッション発表
- 日本 RS 学会 秋季学術講演会 参加  
11月26-27日 ポスター発表

連絡先：国土防災リモートセンシング研究会

会長 桑原祐史(茨城大学) yuji.kuwahara.rs@vc.ibaraki.ac.jp 幹事 石内鉄平(宮城大学) ishiuchit@myu.ac.jp